

としまボランティアセンターだより

発行：社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
豊島ボランティアセンター

〒170-0013 豊島区東池袋 1-39-2 区役所東池袋分庁舎 4階
TEL 03-3984-9375 FAX 03-3981-2946
Eメール tomonii@t.toshima.ne.jp
URL <http://toshima-shakyo.or.jp>
月～金曜日 8:30～17:15 (土日・祝日・年末年始は休み)

2021年4月号

毎月15日発行

Vol. 295

音声版は当協議会の閲覧コーナーにあります。

豊島区高齢者元気あとおし事業

豊島区高齢者元気あとおし事業とは、60歳以上の健康な区民の方、または、介護予防サポーター等が「元気あとおし会員」となって、福祉施設等を通じて社会参加・地域貢献をすることを“あとおし”する事業です。

高齢者自身の介護予防を“あとおし”するとともに、ますます“元気”な高齢者が増え、地域が“元気”になることを目的としています。一定の活動を行うとスタンプがもらえ、貯まったスタンプ数に応じて換金できます。

参加方法



令和3年度より事業内容(方針)が変わります！

<変更ポイント>

①ず〜っと貯まる！永久ポイント制

これまであった繰り越し限度がなくなり、長期的に貯められるようになりました。

②手帳デザインを一新！

永久ポイント制に伴い、スタンプがいっぱいになるまで使い続ける仕様が変わります。

③毎月実施！ポイント還元会

毎月、豊島ボランティアセンター窓口で還元できるようになります。
(今年度は月2回程度を予定)

④いつでも新規登録できる！

来所日時をご予約いただければ、随時登録が可能になります。

⑤より自分に合った活動先が選べます！

施設でのボランティア活動以外に、家でできるボランティアや話し相手ボランティア等、新プログラムを追加しています。

⑥紹介ポイント新設！

ご友人やご家族を紹介し、登録されると3ポイント獲得

問合せ：上記、豊島ボランティアセンターにご連絡ください。

～ ボランティア活動の心得 ～

“ボランティア活動”を、楽しく安全に行うために、以下のポイントに気をつけましょう。

①責任をもつ

ボランティア活動は、自分の意志で行う活動ですが、自分勝手に活動日程を変更したり、無断で休むことはやめましょう。

②無理のないように

活動日に備え、体調は万全に整えておきましょう。しかし、体調が悪いときは、新型コロナウイルス感染症の心配もあるので、無理せずお休みの連絡をしましょう。

③コミュニケーションを大切に

出会いは、第一印象が大事です。明るく大きな声であいさつすることを心がけましょう。また、受入先の職員やボランティア仲間、利用者とのコミュニケーションをとることで、スムーズな活動につながります。

④相手の気持ちを考えて

相手のを尊重し、相手が「自分でしたいこと(できること)」と「手伝ってほしいこと(できないこと)」をきちんと理解して行動することが大切です。

⑤約束や秘密は厳守

どうしても行けない時、遅れる時は連絡しましょう。また、活動中に知り得た情報やプライバシーは、家族や友人であっても他言しないでください。活動中に写真を撮り、Facebook や Twitter、LINE、Instagram などの SNS に掲載することは厳禁です。

⑥感染予防に気を付ける

マスク着用、手洗い・消毒など活動先の感染対策に協力して活動するようにしてください。

ボランティア募集！

活動までの流れ

施設・団体での活動の場合

- ①活動を希望する「連絡先(担当者)」へ直接連絡を入れる。
- ②質問事項等があれば事前に伝え、面接日等の確認をする。

個人の場合

- ①当センターで、職員から詳細説明を受ける。
- ②職員が顔合わせの日程調整を行う。
- ③職員同席のもと、募集者と直接会って、活動内容の確認や今後の予定等について話し合う。
- ④話し合いが終了したら、お互いの連絡先を交換して終了。(以降、連絡は直接行う)



<個人>

H・Tさん(20代男性、豊島区周辺在住)

現在独学で中国語を勉強しています。ボランティアで中国語を教えてください方を募集しています。将来的には仕事等でも活かしていきたいと思っています。また、独学で5年間手品の勉強もしてきたので、合間に披露したりと、お互いに楽しい時間になれば嬉しく思います。

- ▼内容：中国語を教えてください方の募集
- ▼日時：随時調整。週1～2日、1～2時間程度
- ▼条件：特になし
- ▼持ち物：筆記用具
- ▼活動場所：自宅または近所のカフェ等
- ▼対象：特に無いですが、同年代の方だとお話が聞きやすいです。
- ▼募集人数：1人
- ▼問合せ先：当センター
TEL 03-3984-9375 FAX 03-3981-2946
Eメール tomonii@t.toshima.ne.jp

<施設・団体>

おもちゃの図書館「あいじえん」

大塚にあるおもちゃの図書館「あいじえん」でボランティアをしてみませんか？障がいのあるお子さん、ないお子さんと一緒におもちゃで遊びながら楽しい時間を過ごします。開館日にお手伝い下さる方、おもちゃの修理等をして下さる方、手作りのおもちゃを作って下さる方、大歓迎です！お気軽にご連絡ください。

- ▼内容：障がいのあるお子さん、ないお子さんとの遊び相手等
- ▼日時：原則毎月第2第4月曜日 12:40～15:30(祝日は休み)
- ▼条件：子どもと遊ぶことが好きな方
- ▼活動場所：福祉財団ビル3階中央愛児園内 おもちゃの図書館「あいじえん」(大塚駅)
- ▼対象：高校生以上(男女不問)
- ▼その他：活動しやすい服装(ボランティアの方専用のエプロンを着用して活動)、ボランティア保険加入必須。
- ▼問合せ先：全国心身障害児福祉財団事務局 担当：原
TEL 03-5927-1284 FAX 03-5927-1281
Eメール gyomubu@shougaiji-zaidan.or.jp

共生サロン南池袋

(一社)コミュニティネットワーク協会が運営している「共生サロン南池袋」では、SDGs精神の実現、コロナフレイル予防の為に健康麻雀、卓球等のプログラムを実施しています！(利用者も募集中！)参加者と一緒に、プログラム参加し創って下さるボランティアスタッフを募集しています！誰一人取りこぼさない、地域社会づくりにあなたも参加してみませんか。

- ▼内容：下記活動内容で、ボランティアスタッフを募集しています！詳細は、面談時にご説明・相談の上決めていきます。①健康麻雀、卓球等、プログラムに参加して、一緒に楽しんでくださる方！②日替わり誰でも食堂企画運営に携わって下さる方！その他、当サロンで行いたい企画(例、講座等)の提案等も随時募集しています！
- ▼日時：健康麻雀：月火木金 9：30～16：30 卓球：土 9：30～16：30 日替わり誰でも食堂：17：00～
- ▼条件：健康麻雀は、経験者のみ。その他詳細はお問合せ下さい。
- ▼持ち物：活動によって異なるので詳細はお問合せ下さい。
- ▼活動場所：共生サロン南池袋(池袋駅)
- ▼対象：豊島区・周辺地域の方で、コミュニティづくりに関心のある方であればどなたでも
- ▼募集人数：①10名 ②5名
- ▼締切：定員に達し次第
- ▼その他：ボランティア募集と同時に、サロン利用会員も募集中です！
- ▼問合せ先：コミュニティネットワーク協会 担当：大橋
TEL 080-6539-1304
Eメール jamboohashi0507@yahoo.co.jp
URL <https://toshima.life-together.info/>

クラフトマスクで地域をつなぐプロジェクト ～途中経過～

集まったマスク 2,017 枚 (3月末時点)

てづくりのマスクを募集しています。集まったマスクは、区内で活動している福祉団体や施設、来所された方にお配りします。今後もまだまだ募集中です。

- ▼募集しているマスク：てづくりで洗濯できる素材のマスク
- ▼方法：窓口を持ち込みもしくは郵送。
- ▼問合せ先：当センター



いんぷおめ～しよん

～information～

<イベント・講座>

ひと味違ふ 紙芝居と絵本のイベント

楽しいだけじゃない、人生の価値観が変えられる事間違いなし

- ▼内容：「紙芝居&絵本読み聞かせ」他、(歌・クイズ・ハーモニカ奏者出演など盛りたくさん)
- ▼日時：5月2日(日)13：00～17：00
- ▼場所：としま産業振興プラザ 第3会議室(6F)
- ▼参加費：1,000円(予約制30名)
- ▼問合せ先：JAMESの紙芝居事務局 担当：高井
TEL 080-7307-0136 FAX 03-3987-5590
Eメール james.earth.kamishibai@gmail.com

コミュニティネットワーク協会

共生ハウス西池袋の住人と共生社会づくりに語ろうと題して、参加者全体で、共生社会作りについて考えます！参加者募集中！

- ▼内容：ひきこもり等の生き難さを抱えた当事者と地域で支援活動を行っている支援者2名のゲストによる講演と参加者(会場)との対話を通じて、共生社会作りになんが大切なのか等を考えていきます。
- ▼日時：4月18日(日)14：00～18：00
- ▼持ち物：筆記用具・メモ
- ▼場所：共生サロン南池袋(池袋駅)
- ▼参加費：無料
- ▼対象：豊島区・周辺地域の方で、コミュニティづくりに関心のある方であればどなたでも
- ▼募集人数：会場定員20名、Zoom配信参加100名
- ▼締切：4月17日(土)
- ▼その他：当日は、交流会もあり。Zoom配信、見逃し後日配信もあり。5月にも同様なイベントを開催計画中！詳細はお問合せ下さい。
- ▼問合せ先：一般社団法人コミュニティネットワーク協会 担当：大橋
TEL 080-6539-1304
Eメール jamboohashi0507@yahoo.co.jp
URL <https://toshima.life-together.info/>



「共生社会」の思いをつなげていきたい🔊①



令和3年4月、社会福祉協議会は組織改正を行い「豊島ボランティアセンター」は地域福祉推進課から新設の共生社会推進・事業開発課の中に配置することになりました。

その名のとおりこの課は、共生社会を実現するために既存のボランティアセンター、有償在宅福祉サービスであるリボンサービス、ハンディキャブ運行事業、困りごと援助サービス、その他地域福祉事業をそれぞれ位置づけるとともに、より一層の共生社会実現のために何ができるかを追究し事業開発していこうという思いが詰まった課です。

みなさんは共生社会という言葉はどう捉えていますか？

今、世間では利己主義、偏見、不寛容な側面がありますが、一方で人が困っていると世話好きな人が声をかけて援助したり、昨今の生活課題を社会の問題として捉えて活動団体を立ち上げたりする人たちも多数存在します。まさしく共生を肌で感じている人々です。私も以前様々なボランティア活動をしていた時、共生社会を進めていく必然性を感じて内部でも話し合いを重ねたことがあります。

「共生社会」の視点をポジティブに『地域に生きるみんながつながりあう社会』とか『共に生きる幸せ』というようなイメージで捉えることは大事です。しかしまだ地域とつながりたくないという人々の思いも時間をかけて受容していく必要もあることから、『生きてゆくことを共にする社会』というように少し緩く捉えて、時間をかけて様々な生き方、考え方を認め合う社会にしていく必要があると思います。

まずは個々に共生の意味を理解し、誰もが不便、不安を感じない日々、そして社会にしていくために、私たちに何ができるかを考えるところから始めていきましょう。

次回、具体的に共生の視点から災害時の問題点を提起していきます。

共生社会推進・事業開発課長
大竹 宏和



使用済み切手・書き損じハガキのご寄付ありがとうございました！！

<3月受付：2/26～3/25 受付分> 39件 13,121g

吉波さゆり、池袋駅前郵便局、巣鴨駅前郵便局、東京芸術劇場郵便局、(株)光通信、明治安田生命保険相互会社労働組合、東鉄工業株式会社、要小学校、明治大学校友会豊島区地域支部、池袋本町二丁目寿会、高齢者クラブ連合会、風かおる里、町のクリニック目白、いけぶくろ茜の里、高田介護予防センター、アトリエ村、元気！ながさきの会、中央図書館、みらい館大明、南大塚地域文化創造館
区役所（税務課、地域保健課、文化デザイン課、道路整備課、西部生活福祉課、総務課、東部区民事務所）、匿名8名
※敬称略・順不同

ボラセン閲覧コーナー
今月のイチオシ！！

「世界自閉症啓発デー
& 発達障害啓発週間」

